

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成26年6月19日(2014.6.19)

【公表番号】特表2013-518618(P2013-518618A)
 【公表日】平成25年5月23日(2013.5.23)
 【年通号数】公開・登録公報2013-026
 【出願番号】特願2012-551380(P2012-551380)
 【国際特許分類】

A 6 1 H 7/00 (2006.01)
 A 6 1 K 45/00 (2006.01)
 A 6 1 P 9/10 (2006.01)
 A 6 1 P 7/02 (2006.01)
 A 6 1 H 23/04 (2006.01)

【F I】

A 6 1 H 7/00 3 2 2 B
 A 6 1 K 45/00
 A 6 1 P 9/10
 A 6 1 P 7/02
 A 6 1 H 23/04

【手続補正書】

【提出日】平成26年4月21日(2014.4.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

再狭窄を有するまたはその発現リスクがある対象の再狭窄を低減するためのシステムの作動方法であって、

再狭窄の発生率または重症度を低減するのに十分な量と頻度の反復遠隔虚血コンディショニング(RIC)療法のプロトコルに従い、前記システムを作動させること、を含む方法。

【請求項2】

医療介入の後に再狭窄が発生する、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記反復RIC療法が、1日で行われる2回以上のRIC療法を含む、請求項1または2に記載の方法。

【請求項4】

前記反復RIC療法が、2日以上で1回以上のRIC療法を含む、請求項1～3のいずれか1項に記載の方法。

【請求項5】

前記反復RIC療法が、1ヶ月間毎日行われる1回以上のRIC療法を含む、請求項4に記載の方法。

【請求項6】

前記反復RIC療法が、1ヶ月間1日おきに行われる1回以上のRIC療法を含む、請求項4に記載の方法。

【請求項 7】

前記反復 R I C 療法が、6 ヶ月間にわたる 1 回以上の R I C 療法を含む、
請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

前記対象が医療介入を受ける、
請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 9】

前記反復 R I C 療法が前記医療介入の前、前記医療介入中、および前記医療介入の後、
の少なくとも一つの時期に行われる、
請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

前記反復 R I C 療法が医療介入の前後に行われる、
請求項 8 に記載の方法。

【請求項 11】

前記医療介入が血管内ステント留置術である、
請求項 8 ~ 10 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 12】

前記血管内ステント留置術が動脈ステント留置術、静脈ステント留置術、ベアメタルス
テント留置術、および薬剤溶出ステント留置術からなる群から選択される、
請求項 11 に記載の方法。

【請求項 13】

前記医療介入が血管形成術、非血管ステント留置術、食道ステント留置術、気管ステ
ント留置術、尿管ステント留置術、および胆管ステント留置術からなる群から選択される、
請求項 2 および 8 ~ 10 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 14】

少なくとも 1 回の R I C 療法が前記医療介入の 24 時間以内に行われる、
請求項 2 および 8 ~ 10 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 15】

少なくとも 1 回の R I C 療法が前記医療介入の 2 時間以内に行われる、
請求項 2 および 8 ~ 10 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 16】

少なくとも 1 回の R I C 療法が前記医療介入の 1 時間以内に行われる、
請求項 2 および 8 ~ 10 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 17】

少なくとも 1 回の R I C 療法が少なくとも 4 サイクルを含み、各サイクルが閉塞と再灌
流とを含む、
請求項 1 ~ 16 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 18】

少なくとも 1 回の R I C 療法が、5 分間の閉塞と 5 分間の再灌流とを含むサイクルを 2
サイクル以上含む、
請求項 1 ~ 17 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 19】

前記閉塞のための血圧が収縮期血圧より少なくとも 15 mm H g 高い圧力である、
請求項 17 または 18 に記載の方法。

【請求項 20】

前記反復 R I C 療法が一つの部位で行われる、
請求項 1 ~ 19 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 21】

前記反復 R I C 療法が上肢および下肢の少なくとも一方で行われる、
請求項 1 ~ 20 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 2 2】

前記対象には抗血小板剤が投与されている、
請求項 1 に記載の方法。

【請求項 2 3】

前記対象には抗炎症剤が投与されている、
請求項 1 に記載の方法。